

## 急拡大するアリペイの新互助プラン

アントフィナンシャル傘下のインターネット互助プラン「相互宝」の加入者は、昨年10月の発売後半年弱で5000万人を超えた。重大疾病を保障する同商品の爆発的な人気を受けて、大手インターネット会社は相次いで新しいタイプの互助プランを発表している。

### 「相互宝（相互保）」の仕組み

アントフィナンシャル傘下の保険プラットフォーム「螞蟻保険」は2018年10月、生命保険会社「信美相互会社」と提携し、重大疾病保障サービスを提供する「相互保」を発売した。

「相互保」の保障範囲はガンや悪性腫瘍を含む計100種類の重大疾病である。18歳から59歳未満、「芝麻信用」<sup>1)</sup>スコアが600点以上のアリペイ会員が無料で加入できる。加入時の掛金は不要で、将来発生する給付は加入者全体で分担する<sup>2)</sup>。給付金は、重度の重大疾病の場合、40歳未満が30万元（約500万円）、40～59歳が10万元（約165万円）である。なお、重大疾病で給付金が支払われた加入者は、直ちに保険者の資格を喪失する。

同商品は発売直後から話題となり、加入者は1か月後には2000万人を超えた。しかし、こうした人気は伝統的な保険会社や銀行保険監督管理委員会（銀保監会）も軽視できない存在となった。中国保険業協会は「保険商品に該当しない」、「不適切なイノベーションだ」と指摘した。伝統的な保険業界からの圧力もあったものと思われる。

こうした当局と保険業界の動きを受けて、昨年11月27日にアントフィナンシャルは「相互保」の販売を停止し、名称を「相互宝」<sup>3)</sup>に変更した。また、「相互宝」は、保険ではなく「インターネット互助プラン」とその性格を明確にし、アリペイのみで運営されるようになった。基本的な仕組みに変更は

ないが、管理費は10%から8%に引き下げられた。また、重度の疾病のほかに「軽度の疾病」を加え、この場合、年齢にかかわらず5万元を給付し、給付金が支払われ後もなお引き続き資格を有することとした。

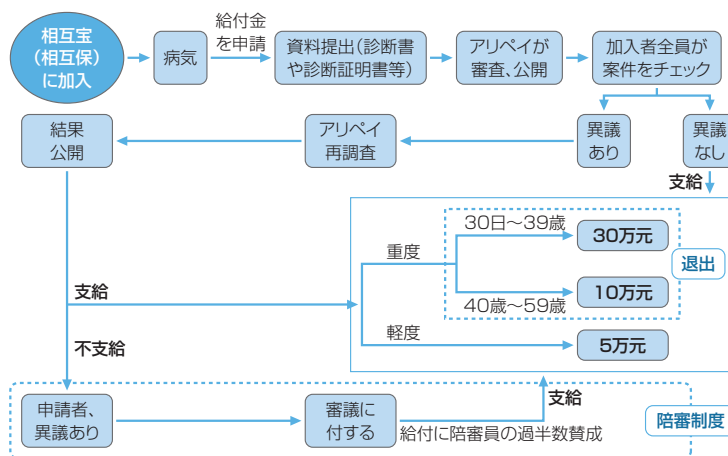
「相互宝」の加入者は2019年4月には5000万人超に達した。これは、保険大手「中国平安保険集団」の18年の新規増加顧客数<sup>4)</sup>を上回る。「相互宝」は、世界最大の互助会組織となった。なお、中国では、「轻松互助」、「水滴互助」等、既に数十の互助プランが存在する。

加入者の爆発的増加の背景には、中所得者層の間に、公的な基本医療保険でカバーできない重大疾病の保障への潜在需要が強いことがある。アリペイによると、5000万人の加入者の中、農村地域と县城<sup>5)</sup>の加入者が31%、出稼ぎ労働者が47%を占めている。

5月末時点で、「相互宝」は計60人の加入者に1439万元の給付金を支払っている。

一方、19年の一人あたりの負担額の上限は188元（約3100円）と設定している<sup>6)</sup>。今後、アントフィナ

図表1 相互宝プランの審査の仕組み



(出所) アリペイアプリケーション「相互宝」の資料を基に野村総合研究所作成

**NOTE**

- 1) 「芝麻信用」はアントフィナンシャルが開発した信用評価システムで、アリペイでの決済・返済履歴や、社会的地位、人脈関係等により350点～950点の信用点数を算出する。
- 2) 「相互保」の場合、負担額＝給付金×1.1/加入者数  
「相互宝」に変わった後、負担額＝（給付金×1.08－残高）/加入者数  
残高とは、負担額の合計が実際に支払った給付金を上回る際に生じる剰余分のこと。また、計算式の0.1と0.08相当分は管理費。
- 3) 「相互保」と「相互宝」の中国語発音は、ともに「シャンフーバオ」である。
- 4) 新規増加した顧客は4078万人。18年年末時点で、同社の顧客は計1.84億人。
- 5) 県級行政区の政府が置かれている町。中国の地方行政区区分は4段階（省・自治区、（地級）市、県・市、郷鎮）。
- 6) 年間給付金総額が負担総額を超過した場合、アリペイがその分を負担する仕組みとなっている。
- 7) 加入者またはその家族は結果に対して異議がある場合、陪審団の審議に付することができる。陪審団の陪審員は資格試験に合格した加入者である。
- 8) 25万人の陪審員が投票した唐氏の保険金給付審議のケースでは、唐氏（50歳）は、転落事故で10万円の給付金を申請したが、アリペイの調査員は健康告知義務違反と認定し、給付金不払いと判断した。そこで唐氏の家族は、同ケースを陪審団の審議に付した。5時間で計25万人の陪審員が投票し、58%が調査員の決定を支持し、42%が互助金の給付を支持となり、不支給となった。
- 9) 伝統保険会社の利益を害するとのクレームを受け、発売後1日で販売停止となった。
- 10) 2017年5月5日時点。
- 11) 例えば、一部の互助プランはその剰余分（残高）の使途を公表していない。

ンシャルは年末に、翌年の負担上限を公表する。

また、「相互宝」はビッグデータ、AI、ブロックチェーン等の技術の活用に加え、陪審制度<sup>7)</sup>を導入した（図表1）。申請に異議を付され不支給となった案件は、陪審員の投票を通じて民主的に再判定される<sup>8)</sup>。これにより、運営の透明性、公平性、信頼性を確保する。

**最近の互助プラン動向**

「相互宝」人気を受けて、新商品が続々と登場している。19年5月8日、アントフィナンシャルは高齢者向けの「老人版相互宝」を発売した（図表2）。対象は60歳から70歳の高齢者、保障範囲は高い頻度で発生しているガンである。また、高血圧、高脂血症、高血糖の人と心・脳血管疾患患者も対象となる。軽度の悪性腫瘍の給付金は5万元、重度の場合は10万元である。アリペイは、一件の給付金についての加入者負担額は1元以下に

する。超過した場合、アリペイがその分を負担する。

18年年末時点で、中国60歳以上の人口は約2.5億人と総人口の17.9%を占めている。一方、60歳～70歳の高齢者の中で、商業保険に加入したことのある高齢者は僅か3%に過ぎない。中国の高齢化が進行する中で、老人版「相互宝」は膨大な高齢者の疾病保障を補完すると期待されている。

一方、他の大手インターネット会社による互助プランもブームを巻き起こしている。京東金融は18年11月、相互保険「京東互保」<sup>9)</sup>を打ち出した。次いで12月には、配車大手「滴滴出行」傘下の滴滴金融が互助プラン「点滴相互」を、19年5月には、蘇寧金融がガン予防向けの互助プラン「寧互宝」を発売した。

今後、大手インターネット会社に加えて、より多くの企業が差別化した商品を打ち出して互助プランまたはインターネット保険に進出してくることが考えられる。

一方、先行プラットフォームを見ると、「水滴互助」や「轻松互助」などは赤字運営になっており、126万人<sup>10)</sup>の加入者を持つ「17互助」は4月19日に運営停止を発表した。これにより、インターネット互助プランの持続運営能力への懸念も出ている。また、不透明な資金流れ<sup>11)</sup>と監督管理制度の不備による資金安全問題への不安も浮上している。

互助プランやインターネット保険に対する監督管理規定の制定や市場参入基準の明確化等が急がれる。

**図表2 相互宝プランの商品概要**

プラン名	相互宝	老人版相互宝
年齢	30日～59歳	60歳～70歳
加入条件	芝麻信用600点以上、健康告知事項を満たす。	健康告知事項を満たす。
加入費用	無料	無料
待期間	90日	90日
保障範囲	99種類の重大疾病+悪性腫瘍	悪性腫瘍
管理費	8%	8%
分担費用	(給付金×1.08－残高 <sup>(注1)</sup> )/加入者数 一人当たりの負担は0.1元以下	(給付金×1.08－残高)/加入者数 一人当たりの負担は1元以下
給付金	軽度 5万元	軽度 5万元
	30日～39歳: 30万元	
	重度 40歳～59歳: 10万元	重度 10万元
	死亡 0元	死亡 0元
加入者数 <sup>(注2)</sup>	合計約7000万人	

(注1) 本文の2)を参照  
(注2) 2019年6月10日時点  
(出所) アリペイアプリケーションの情報を基に野村総合研究所作成

**Writer's Profile**



**楊晶晶** Yang Jingjing  
NRI北京 調査デスク  
研究員  
専門は中国マクロ経済、Fintech  
focus@nri.co.jp